

口腔顎顔面放射線医学演習

Oral and Maxillofacial Radiology Seminar

2 単位 (選択) 1 年 (後期), 2 年 (後期)

菅田 栄一 (授業責任者)・教授 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 森田 康彦・助教 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座

【授業目的】 放射線とは何かということを実習を行いながら理解するとともに、医療での放射線の利用を体験する。

【授業概要】 放射線の性質を調べる実習を行う。
放射線の検出系の評価法に関する実習を行う。
歯科領域で行われている、CT 検査、MR 検査、超音波検査、核医学検査で得られた各種疾患の画像診断の実習を行う。

【履修上の注意】 筆記用具 (鉛筆, 消しゴム, 直線定規), 電卓 (関数機能つき) を持参することデータ整理のためのパソコンなどがあれば持参することが望ましい。

【授業計画】

1. 実習ガイダンス
2. X 線管球から発生する線量測定
3. 物質および管電圧の違いによる X 線透過性測定
4. 散乱線の測定
5. 口内法・パノラマ X 線撮影における被曝線量測定
6. CT 撮影における被曝線量測定
7. フィルムの画質測定 1(コントラスト, 感度)
8. フィルムの画質測定 2(粒状性, 鮮鋭度)
9. デジタル検出系の感度測定
10. ROC 曲線
11. 頭部の X 線撮影 (PA, Waters, パノラマ X 線撮影) における画像診断実習
12. CT 画像診断実習
13. MR 画像診断実習
14. 超音波画像診断実習, 核医学画像診断実習

【成績評価】 出席およびレポートにより評価。

【再試験】 行わない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217430>

【連絡先】

⇒ 菅田 (honda@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: e-mail によりアポイントをとって下さい。必要に応じて時間調節を行います。)

【備考】 特になし。